

AIFA U-13サッカーリーグ2022 実施要項 (改訂版0822)

- 1 主 旨 (公財)愛知県サッカー協会は、(公財)日本サッカー協会が推進する年間を通したリーグ戦文化の定着の実現に向け本リーグを実施する。これを受けて県全体での拮抗したリーグ戦を行うことにより3種年代全体のレベルアップをはかる。
- 2 主 催 (公財)愛知県サッカー協会
- 3 主 管 (公財)愛知県サッカー協会3種委員会
- 4 後 援 愛知県
- 5 日 程 (1) 2022年9月～2023年2月
(2) リーグ戦が不成立の場合は順位を決定しない。(昇降格も行わない)
ただし、東海リーグ参入戦が行われる場合は、終了時点の勝ち点率(勝ち点÷試合数)でTOPリーグの1位のみ決定し出場権を与える。
(3) 最終的な順位決定(降格含む)については、最終期限時点の結果によるものとする。
最終期限：全リーグ2月12日(日)(プレーオフは除く)
- 6 会 場 愛知県下サッカー場及び学校グラウンド
- 7 参加資格 (1) 原則として、(公財)日本サッカー協会に2022年7月31日までに第3種登録したチーム、及び2009年4月2日以降に生まれた選手。第4種登録し、クラブ申請したチームに所属するU12の選手。
女子加盟チーム所属の選手については、学校チームに限りその中学校に在籍している者は、移籍手続きを行うことなく参加することができる。
(2) 複数チームの参加を認めるが2チームまでとする。
ただし、2チーム参加している場合(東海と県、県内)でも、日程が重ならないようにする等の配慮はしない。
(3) リーグの全日程に必ず参加できること。
(4) 有資格者の審判員を2名帯同できること。(そのうち1名は3級以上で、主審は3級以上の資格を有しているものが行うこと)
(5) 学校チームは学校長の承認があること。
(6) 参加チームは必ず傷害保険に加入していること。(学校チームにおいて、スポーツ振興センターに加入している選手はこの限りとしなない)
※ 大会中に生じた事故やけがについて主催者は応急処置を行うが、それ以外の責任を負わない。
(7) 選手数が不足している同種別の複数チームによる「合同チーム」の参加については、条件を満たしている場合においてのみ認めることとする。
ただし、11名以上の選手を有するチーム同士の合同は適用対象外とする。
- 8 リーグ編成 TOPリーグ・・・13チーム【来年度12チーム】
1部リーグ・・・12チーム【来年度12チーム】
2部リーグ・・・11チーム【来年度14チーム、再来年度12チーム】
3部リーグ・・・61チーム(A・B・C・Dブロック)【来年度3部A・Bブロック合計24チーム、4部A・B・C・Dブロック】
※ このリーグに出場した学校チームはAIFA U-13中学校サッカー選手権大会地区予選への出場を認めない。
- 9 表 彰 各リーグ1位を表彰
- 10 競技方法 (1) 各リーグとも1回戦総当たりを基本とする。組合せは各リーグにて決定する。
(2) 試合時間は60分(30分-10分-30分)とする。
(3) 順位決定は①勝ち点(勝ち3・引き分け1・負け0)②得失点差、③総得点、④対戦成績、⑤抽選により決定する。
- 11 競技規則 (公財)日本サッカー協会の「サッカー競技規則2022/2023」による。
※ 競技規則が改訂があった場合の対応については、3種委員会において協議し、決定する。
- 12 登 録 (1) 大会選手登録については事前エントリーはなしとする。(試合当日の提出のみ)
(2) 毎試合の登録は、「メンバー表兼選手・スタッフ健康チェック表」(以下「メンバー表」と表記)に先発11名に○、ベンチに入らない選手に斜線、ベンチ入りスタッフに○を付けることとする。ベンチ入りできる人員は最大35名(監督1名、コーチ4名以内、選手30名以内)とする。
(3) 各試合の60分前までに登録選手の選手証(写真添付により、顔の認識ができるもの)と登録の記入を終えた「メンバー表」2部を本報に提出する。
(4) 複数チームの監督を兼ねることはできない。(コーチは兼ねられる)
- 13 交 代 <TOP、1部リーグ>
(1) 選手交代は7名以内とする。再交代はできない。
(2) 後半の交代回数を3回までとする。(1回に複数人交代することは可能)
(3) 後半のクーリングブレイク、飲水タイムのインターバルでの選手交代も、後半の選手交代の回数に含まれる。
<2部、3部リーグ>
(1) 選手交代は7名以内とする。再交代も可能とする。
(2) 交代回数は前半(試合開始からハーフタイム終了まで)3回、後半3回までとする。(1回に複数人交代することは可能)
(3) クーリングブレイク、飲水タイムのインターバルでの選手交代も、選手交代の回数に含まれる。
- 14 警告退場 (1) 本大会において退場を命じられた選手、監督、コーチは、次の1試合に出場できず、以降の処置については、本大会規律委員会において決定する。
(2) 本大会期間中に警告を2回受けた者は次の1試合に出場できない。
- 15 試合球 試合球は、JFA検定球(日本サッカー協会の定める規格に合格したボール)や、さらに厳しい規格のものを使用する。
- 16 ユニフォーム (1) 本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショート及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用すること。
(2) 正・副の2色については明確に異なる色とする。
(3) ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、着用する、または覆う部分のソックスの色と同じものでなければならない。2部、3部リーグは、着用するソックスと同色でなくても良いが、チーム内で統一したものを着用する。
(4) アンダーシャツは、シャツの各袖の主たる色と同じ色で1色とする。または、シャツの各袖とまったく同じ色の柄にする。2部、3部リーグは、アンダーシャツの色は問わないがチーム内で統一したものを着用する。
(5) アンダーショートおよびタイツは、ショーツの主たる色、またはショーツの裾の部分と同じ色でなければならない。同一チームの競技者は、同色のものを着用しなければならない。2部、3部リーグは、アンダーショートおよびタイツの色は問わないが、チーム内で統一したものを着用する。
(6) シャツの前面・背面に選手番号をつけること。また、シャツの前面にはチーム名称もしくはマークが入っていること。ショーツにも背番号と同一の番号をつけることが望ましい。
(7) ユニフォームへの広告表示については(公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に基づき、承認された場合のみ認める。ただし、(公財)日本中学校体育連盟加盟チームは規程によりこれを認めない。
(8) その他については(公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に則る。

17 その他

- (1) 先発選手は試合開始5分前に本部前にてメンバーチェックを行う。
- (2) キックオフの時点で、第3種登録選手(中1)がピッチ上に6名以上いること。U-12(小6に限る)の選手はピッチ上に最大5名までとする。
- (3) 「2チーム参加しているチーム」のセカンドチームは、ファーストチームと同じリーグに所属しないこととする。ただし、ファーストチームが3部に所属する場合は同じブロックに所属しないものとする。
- (4) ブロック選手制について
「2チーム参加しているチーム」のファーストチームに所属する選手のうち11名(GK1名、FP10名)をブロック選手として指定する。
「メンバー表」の通番1～11をブロック選手とし、ブロック選手はセカンドチームの所属するリーグに選手登録することはできない。
※ ブロック選手の変更期間
〈TOP、1部、2部に所属するファーストチーム〉
①各チームの4節-5節間、②各チームの8節-9節間(左記の2回とする。)
〈3部に所属するファーストチーム〉
①各チームの4節-5節間、②各チームの8節-9節間、③各チームの12節-13節間(左記の3回とする。)
- (5) 本リーグに参加しているチーム間での選手の移籍は移籍規定に則り認める。
- (6) 重大な違反をしたチームは3種委員会の規律委員会にてその処罰を決定する。
- (7) 愛知県下に午前6時に暴風(暴風雪)警報が発令されていた場合は、その日の大会を延期する。
- (8) 午前6時に大雨警報や洪水警報が出ており、会場運営ができず、試合を中止する場合は、リーグ長に連絡の後、会場担当のチームで該当チームに連絡をすること。
- (9) 試合中に雷が発生し、試合が続行不可能になった場合は、続行不可能になった時点での得点・残り時間で、再び試合を行う。(同審判で行えない場合もある)
- (10) 大会要項に規定されていない事項については、3種委員会において協議の上決定する。
- (11) 昇降格規定
〈TOP〉1位が東海リーグ参入戦に参加する権利を得る。下位3チームは1部リーグへ降格。【来年度のTOPリーグのチーム数は12チーム】
〈1部〉上位2チームはTOPリーグへ昇格。下位3チームは2部リーグへ降格。【来年度の1部リーグのチーム数は12チーム】
〈2部〉上位2チームは1部リーグへ昇格。下位2チームは3部リーグへ降格。【来年度の2部リーグのチーム数は14チーム】
降格するチームを除いた下位2チームはプレーオフを行う。
〈3部〉各ブロック上位1チーム(計4チーム)は2部リーグへ昇格。各ブロック2位、3位チーム(計8チーム)はプレーオフを行う。
各ブロック上位6位までを来年度の3部リーグ所属とする。7位以降のチームを来年度4部とする。【来年度の3部リーグはA、Bブロックに分かれ、各ブロックのチーム数を12チームとする。来年度は4部リーグを新設し、A、B、C、Dブロックに分ける。】
- (12) プレーオフ(東海リーグからの降格数が決定後に実施の有無や昇格チーム数が決まる)
トーナメント形式で行う。
〈1回戦〉3部リーグ各ブロック2位と3位の対戦とする。対戦カードは同ブロックの対戦はなしとし、抽籤により決定する。
本リーグ戦と競技方法は変更しない。引き分けの場合、2位のチームの勝ちとする。(2月下旬予定)
〈2回戦〉1回戦の勝者チームの対戦とする。
本リーグ戦と競技方法は変更しない。引き分けの場合、10分間の延長戦を行い、さらに勝敗が決しない場合はPK方式により勝利チームを決定する。(3月上旬予定)
〈3回戦〉2回戦の勝者チームの対戦とする。
本リーグ戦と競技方法は変更しない。引き分けの場合、10分間の延長戦を行い、さらに勝敗が決しない場合はPK方式により勝利チームを決定する。(3月中旬予定)
その他詳細については、プレーオフ監督会議に連絡する。
- (13) 3部7位チームの順位決め(東海リーグからの降格数が決定後に実施の有無や来年度3部所属チーム数が決まる)
今年度3部7位の4チームは来年度4部に所属することになる。しかし、来年度の3部のチーム数をA、B各ブロック12チームとするため、東海リーグとの昇降格の状況によっては来年度3部に所属する可能性がある。来年度3部所属となるチームを決定するための試合をトーナメント形式で行う。
〈1回戦〉3部リーグ各ブロック7位同士の対戦とする。対戦カードは抽籤により決定する。
本リーグ戦と競技方法は変更しない。引き分けの場合、10分間の延長戦を行い、さらに勝敗が決しない場合はPK方式により勝利チームを決定する。(2月下旬～3月中旬予定)
〈2回戦〉1回戦の勝者チームの対戦とする。(1チームが来年度3部に所属することができる場合のみ行う)
1回戦の敗者チームの対戦とする。(3チームが来年度3部に所属することができる場合のみ行う)
1回戦と競技方法は変更しない。(3月中旬～下旬予定)
その他詳細については、プレーオフ監督会議に連絡する。

競技上の注意事項

1 日程について

- リーグ戦を全日程消化することを前提とする。
- 日程調整において考慮されるのは原則クラブカップ、中体連関係の試合、修学旅行など重要な学校行事、地区以上のトレセン活動とする。それ以外で考慮を申し出る場合は会場を確保して代替日を提案するなどブロック長と協力してリーグ運営にあたること。
- 全日程を消化することが難しい場合の対応
リーグ戦の全日程を消化することが難しい状況になった場合は、JFAおよび愛知県サッカー協会の方針に則り次のように進めていく。
全リーグの全チームが全日程の70%以上を消化した段階でリーグ戦成立とする。順位は終了時点の勝ち点率(勝ち点÷試合数)で決定する。(昇降格も行う)
- 対戦順は、リーグ組分け表上位チーム(または下位チーム)との対戦が連続しないようにする。ただし、会場の有無やチーム都合等によりその通りにならない場合がある。
- リーグ戦の根幹となるM-T-Mの確保のため、原則、リーグ戦の連戦を行わない。やむを得ず連戦を行わなくてはならない場合は、県協会やリーグ統括、ユースダイレクター等と協議し対応を決定する。

2 合同チームについて

- 「合同チーム」については、次の条件を満たしている場合においてのみ認めることとする。
 - ① 合同するチームおよびその選手は、要項の7 参加資格(1)を満たしていること。
 - ② 極端な勝利至上主義を目的とする合同ではないこと。
 - ③ 県内同地区内での合同チームであること。
 - ④ リーグ戦の参加申込み手続きは、それぞれのチームの代表者が協議の上、代表チームが行うこと。
 - ⑤ 合同チームとしての参加を愛知県3種委員長が別途了承すること。

3 新型コロナウイルス感染症対策

- 本大会の感染対策責任者を【リーグ統括 橋福成】とする。
- チームは必ず感染対策責任者を設置する。チーム感染対策責任者はチームの感染対策をしっかりと行うこと。
- 「メンバー表」に感染対策責任者を決めて必ず明記すること。(スタッフ氏名を○で囲む)
- チーム感染対策責任者は、試合当日の「参加チーム用新型コロナウイルス対応チェックリスト」を作成し、保管しておく。また、「健康チェックシート」(2週間以上前から記録が必要)を選手に記録・提出させ、上記「チェックリスト」とともに、少なくとも1ヶ月間保管しておく。
- チーム感染対策責任者は、試合当日に監督と協力して「メンバー表」の作成にあたり、体調に問題ないことを確認して本部に提出する。(提出がない場合、記載に不備がある場合は、試合への参加を認めないことがある)
- その他対策については、愛知県サッカー協会HP「3種大会共通資料「公式戦における新型コロナウイルス感染拡大防止に関する対策(参加チーム向け)」について」を参照すること。

4 競技中の負傷について

- フィールド内での治療は不可。ただし、GKの負傷、選手の衝突において即座の治療が必要あるいは、重症と判断されたときは除く。
- チームスタッフは主審の許可なしにフィールドに入ることはできない。
- フィールドから離れた選手は試合再開後のみフィールドに復帰できる。この場合の復帰許可は、主審のみとする。
- 競技者の保護や安全に直接かかわる場合のみ、主審の許可を得てフィールドに入ったスタッフは、ベンチにいるスタッフとの間でのみ電子機器や通信機器を使用できる。

5 試合中の飲水について

- 新型コロナウイルス感染症対策として、試合中の飲水について以下のようにする。
 - ① 前後半それぞれ1回以上、必ず「飲水タイム」を設ける。(1分間を超えない)
 - ② 飲水時は必ずマイボトルで飲水し他者と共有しない。タオル等も共有しない。
 - ③ 飲水時はピッチから出てベンチ内のマイボトルで飲水する。他者のボトルに触ることを避ける。
 - ④ マイボトルに限り、フィールドから1m離れた場所に設置したボトルで飲水できる。

6 ブロック選手制について

- ブロック外選手の試合経験を確保することを目的としており、原則、以下の考えに基づき、チームはブロック選手を指定する。
 - ① 原則、チーム内のベスト11名(GK1名、FP10名)をブロック選手とする。
 - ② けがをしている選手をブロック選手に指定する等、目的が反することがないように指定する。
目的が反してブロック選手を指定していることが明らか場合は、県3種委員会からチーム代表者に指導を行う場合がある。※ セカンドチームは、試合開始60分前「メンバー表」2部に加えて、ファーストチームの「メンバー表」1部を本部に提出する。
- 県3種委員会、県リーグのブロック長は、ブロック選手が下位リーグに出場することがないように管理し、リーグに所属するチームから報告や照会があった場合は、提出された「メンバー表」等を開示する。

7 昇降格について

- 県リーグから東海リーグへの昇格数は0または1であり、東海リーグに所属する県内チームが県リーグへ降格する数は0、1、2のいずれかである。これにより、次年度の東海リーグと県リーグのチーム数の増減は以下の4パターンである。
 - ① 県リーグのチーム数(-1)：東海リーグへ昇格1、降格0
 - ② 県リーグのチーム数(±0)：東海リーグへ昇格0、降格0または昇格1、降格1
 - ③ 県リーグのチーム数(+1)：東海リーグへ昇格0、降格1または昇格1、降格2
 - ④ 県リーグのチーム数(+2)：東海リーグへ昇格0、降格2昇降格に関わるチームは上記①～④により変動する。
※ 可能な限り、昇格の可能性を高め、リーグの活性化を図ることを目的としてプレーオフを実施する。